

## 新青丸共同利用研究航海報告書

- \* 航海番号 KS-25-7次研究航海
- \* 航海名称 (和文) 夏季日本海のメソスケールブルームが生物ポンプに与える影響解明  
(英文) Impact of meso-scale summer phytoplankton bloom on the biological pump in the Sea of Japan
- \* 観測海域 (和文) 日本海佐渡沖  
(英文) Off Sado, the Sea of Japan
- \* 航海期間 令和7年7月18日(金)～令和7年7月28日(月)
- \* 出港日時・場所 7月18日14時函館港
- \* 入港日時・場所 7月28日11時新潟港
- \* 寄港期間・場所 なし
- \* 研究課題 夏季日本海のメソスケールブルームが生物ポンプに与える影響解明
- \* 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)  
児玉 武稔・東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授・takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
- \* 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目
  1. 現場海域の物理・化学・生物環境測定  
児玉武稔(takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、矢部いつか(iyab001@kaiyodai.ac.jp)  
VMP、CTD 及び採水により、水温、塩分、乱流強度、クロロフィル *a* 濃度、植物プランクトン群集組成、栄養塩濃度、基礎生産速度を測定した。
  2. 動物プランクトン現存量・生理的特性の測定  
児玉武稔(takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)  
NORPAC ネット、飼育ネット、鉛直曳き多層ネットにより動物プランクトンの現存量を測定し、一部の個体は、食性解析、生理活性解析に利用した。
  3. マイクロネクトン現存量  
児玉武稔(takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)  
MOHT により、マイクロナクトンを採集し、その現存量を測定した。一部は、遺伝子発現解析に利用した。
  4. 沈降粒子量の測定  
児玉武稔(takekodama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)  
セジメントトラップにより沈降粒子を捕集し、その量を測定した。

\* 乗船研究者氏名・所属・職名

児玉 武稔・東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授  
 矢部 いつか・東京海洋大学・学振特別研究員  
 和川 拓 水産研究・教育機構 水産資源研究所・主任研究員  
 伊藤 大樹 水産研究・教育機構 水産資源研究所・研究員  
 木下 滋晴 東京大学大学院農学生命科学研究科・教授  
 今浦 由就 東京大学大学院農学生命科学研究科・特任研究員  
 下仲 雄大 東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生  
 金 亦銭 東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院生  
 田中 雄大 長崎大学大学院総合生産科学研究科・准教授  
 佐々木 慎太郎 東京大学 農学部・学部生  
 高橋 聖 東京大学 農学部・学部生  
 田波 茂樹 東京大学 農学部・学部生  
 名塚 誠也 東京大学 農学部・学部生  
 遠藤 愛子 長崎大学 水産学部・学部生

\* 航跡・測点図

